

環境分析技術協議会 活動記録

(1972年11月27日~2012年11月26日)

[1] 役員一覧.....	1
[2] 総会特別講演一覧.....	4
[3] 技術講演会.....	8
[4] 共同実験部会.....	25
[5] 検討部会・マニュアル作成部会.....	29
[6] 見学研修会・会員交流会.....	30
[7] 学会報告一覧.....	34
[8] 報 文.....	39
[9] 刊行資料題目および演題.....	42

[1] 役員一覧

期	委員長	副委員長	監事
1期	新良宏一郎 (大阪大学名誉教授)	田中 工 (大阪化学分析センター) 三宅 義造 (大阪工業技術試験所)	増本 常守 (大阪環境技術センター) 北川 睦夫 (大阪市立工業研究所)
2期		増本 常守 (大阪環境技術センター) 濱口 隆信 (大阪府立工業技術研究所)	石井 五郎 (クラブー環境技術センター) 大浦 政弘 (掘場製作所)
3期		手柴 信吉 (帝人環境技術センター) 濱口 隆信 (大阪府立工業技術研究所)	七野 辰雄 (日製産業) 谷元 正敏 (応用地学)
4期	重松 恒信 (京都大学名誉教授)	宇野 源太 (大阪市環境科学研究所) 渡辺 俊郎 (住化分析センター)	紙野 康美 (日立造船) 三浦 登 (日本検査・大阪理化学試)
5期		宇野 源太 (大阪市環境科学研究所) 安盛 善一 (柳本製作所)	田中 工 (大阪化学分析センター) 手柴 信吉 (帝人環境技術センター)
6期		日色 和夫 (大阪工業技術試験所) 三浦 登 (日本検査)	中山 剛 (住友金属) 成田 貴一 (神戸製鋼所)
7期		日色 和夫 (大阪工業技術試験所) 三浦 登 (日本検査)	本郷英太郎 (住化分析センター) 大塚 繁 (松下電子)
8期	小島 次雄 (京都大学名誉教授) (国立富山工業高等 専門学校校長)	原 寛 (神戸環境分析センター) 浜野 潔 (大阪府立工業技術研究所)	島 博志 (住友電工) 宮本 彰 (ユニチカ環境技術センター)
9期		原 寛 (神戸環境分析センター) 浜野 潔 (大阪府立工業技術研究所)	佐山 恭正 (三菱金属) 吉留 昭男 (三菱電機)
10期		本郷英太郎 (住化分析センター) 久下 芳生 (大阪府公害監視センター)	東谷 博 (泉北環境技術センター) 東森 利安 (川崎製鉄)
11期	宗森 信 (大阪府立大学 名誉教授)	本郷英太郎 (住化分析センター) 久下 芳生 (大阪府公害監視センター)	大槻 真弓 (京都科学研究所) 吉川 重憲 (近畿分析センター)
12期		小篠 薫 (大阪化学分析センター) 黒田 大介 (阪市工研)	三浦 英男 (柳本製作所) 藤長 紀雄 (太平化学工業)
13期		小篠 薫 (大阪化学分析センター) 黒田 大介 (阪市工研)	林 久明 (新日本気象海洋) 湯浅 千弘 (ユアサ商会)
14期		小篠 薫 (大阪化学分析センター) 黒田 大介 (阪市工研)	深川 博章 (ニック環境サービス) 仲 迪秀 (興亜石油)

期	委員長	副委員長	監 事
15期	庄野 利之 (大阪大学名誉教授)	小篠 薫 (大阪化学分析センター)	辰田 裕 (日本気象協会)
		黒田 大介 (阪市工研)	小西 文弥 (松下電産)
16期		中村 卓爾 (大阪ガス)	山森角之助 (日本検査・大阪理化学)
		小田 國雄 (阪市環科研)	斉藤 学 (近畿建設協会)
17期		中村 卓爾 (大阪ガス)	松下 好和 (関西産業公害防止)
		小田 國雄 (阪市環科研)	鈴木 務 (関西テック)
18期		谷口 政行 (コベルコ科研)	金澤 守成 (カネカテクノリサーチ)
		前田 泰昭 (阪府大工)	金田 貞興 (片山化学工業研)
19期	日色 和夫 (神戸女子短期大学 名誉教授)	谷口 政行 (コベルコ科研)	藤長 紀雄 (環境計測サービス)
		前田 泰昭 (阪府大工)	井上準之助 (ヤマト分析研究所)
20期		谷口 政行 (コベルコ科研)	脇阪 達司 (花王)
	前田 泰昭 (阪府大工)	小菅 夫 (関西総合環境)	
21期		青柳 正也 (住化分析センター)	米原 正純 (田岡化学分析)
		東 国茂 (阪工技研)	紀本 岳志 (紀本電子)
22期	池田 重良 (大阪大学名誉教授)	青柳 正也 (住化分析センター)	金谷 文善 (川重テクノサービス)
		東 国茂 (阪工技研)	原田 幹雄 (中山製鋼所)
23期		青柳 正也 (住化分析センター)	大橋 和夫 (セイコー電子工業)
		東 国茂 (阪工技研)	西村 隆夫 (帝人・エコサイエンス)
24期	黒田 大介 (大阪市立工業研究所)	田中 稔 (阪大保全科研センター)	宮本 清茂 (西日本技術コンサルト)
		松下 好和 (関西環境管理技術センター)	奥本 義雄 (帝人・エコサイエンス)
25期		田中 稔 (阪大保全科研センター)	宮本 彰 (マック環境計画)
		松下 好和 (関西環境管理技術センター)	高畑 善和 (日本ダイオネクス)
26期	前田 泰昭 (大阪府立大学 工学部教授)	松下 隆之 (龍谷大理工)	保田 昌宏 (大阪化学分析)
		松下 好和 (関西環境管理技術センター)	藤頼 剛一 (大阪ガス)
27期		松下 隆之 (龍谷大理工)	中川 昌二 (大阪環境保全)
		米原 正純 (田岡化学分析)	松井 稔 (タツタ環境分析)

期	委員長	副委員長	監 事
28期	田中 稔 (大阪大学保全科学 研究センター教授)	渋谷 康彦 (大阪工大) 米原 正純 (田岡化学分析センター)	降矢 喬 (コベルコ科研) 松浦 清 (和歌山薬剤師会)
29期		渋谷 康彦 (大阪工大) 米原 正純 (田岡化学分析センター)	丸橋 基一 (大阪環境技術センター) 仲倉 正博 (関西新技術研究所)
30期		渋谷 康彦 (大阪工大) 松井 稔 (タツタ環境分析センター)	脇阪 達司 (花王) 中村 史朗 (日本気象協会)
31期	松下 隆之 (龍谷大学 理工学部教授)	今村 清 (大阪府環境情報センター) 松井 稔 (タツタ環境分析センター)	田村 敏雄 (ユニチカ環境技術センター) 倉本 一雄 (菱電化成)
32期		今村 清 (大阪府環境情報センター) 松井 稔 (タツタ環境分析センター)	森 修一 (片山化学工業研究所) 鈴木 稔彦 (日吉)
33期		今村 清 (大阪府環境情報センター) 郷木 和昭 (大阪環境技術センター)	中村 史朗 (日本気象協会) 玉置 元則 (ひょうご環境創造協会)
34期	渋谷 康彦 (大阪工業大学 工学部教授)	河野 宏彰 (阪市工研) 郷木 和昭 (大阪環境技術センター)	日野 秀臣 (田岡化学分析センター) 松下 好和 (関西環境管理技術センター)
35期		河野 宏彰 (阪市工研) 林 稔 (ユニチカ環境技術センター)	西栗 正夫 (田岡化学分析センター) 中川 宏 (三菱マテリアル資源開発)
36期		山口 之彦 (大阪市環科研) 林 稔 (ユニチカ環境技術センター)	松下 好和 (関西環境管理技術センター) 鶴丸 秀一 (タツタ環境分析センター)
37期	坂本 英文 (和歌山大学 システム工学部教授)	山口 之彦 (大阪市環科研) 林 稔 (ユニチカ環境技術センター)	西澤 実 (カネカテクノロジー) 倉谷 聡 (コベルコ科研)
38期		竹中 規訓 (阪府大院工) 倉谷 聡 (コベルコ科研)	小玉 一哉 (いであ) 林 稔 (ユニチカ環境技術センター)
39期		竹中 規訓 (阪府大院工) 倉谷 聡 (コベルコ科研)	松下 好和 (関西環境管理技術センター) 木田 進 (田岡化学分析センター)
40期	竹中 規訓 (阪府大現代システム科学域) 倉谷 聡 (コベルコ科研)	竹中 規訓 (阪府大現代システム科学域) 倉谷 聡 (コベルコ科研)	門口 敬子 (関西環境管理技術センター) 尾中 利光 (タツタ環境分析センター)
41期		— —	— —

〔2〕 総会特別講演一覧

- 〔第1期〕 昭和47年11月27日
* 最近の環境政策について環境庁 船後正道
- 〔第2期〕 昭和48年11月20日
* 鉄鋼業におけるNO_x化学分析と機器分析 神戸環境分析センター 原 寛
* 排ガス浄化処理の基礎的問題 岡山大学 笠岡成光
- 〔第3期〕 昭和49年11月25日
* 産業廃棄物の処理について 関西環境開発 山下 暁
* 大阪府のCOD規制について 大阪府公害室 田村定平
- 〔第4期〕 昭和50年12月1日
* これからの環境政策 大阪府公害監視センター 荻野正一
- 〔第5期〕 昭和51年11月26日
* 衛生学と環境科学 大阪市立環境科学研究所 大和田国夫
- 〔第6期〕 昭和52年11月28日
* JIS法改正の動向 東京工業技術試験所 植松喜稔
- 〔第7期〕 昭和53年11月15日
* 最近の環境分析について 公害資源研究所 梅崎芳美
- 〔第8期〕 昭和54年11月9日
* 大阪市における常時監視システム 大阪市環境汚染監視センター 上田玄雄
- 〔第9期〕 昭和55年11月10日
* 琵琶湖の赤潮について 京都大学 門田 元
- 〔第10期〕 昭和56年11月5日
* 環境科学と化学計測 埼玉工業大学 武藤義一
- 〔第11期〕 昭和57年11月18日
* 大気汚染の昔と今 大阪工業大学 新良宏一郎

- 〔第12期〕 昭和58年11月29日
*海水分析にかかわって 京都大学名誉教授 重松恒信
- 〔第13期〕 昭和59年11月28日
*排水中の全窒素、全リンの測定方法 横浜国立大学 並木 博
- 〔第14期〕 昭和60年12月10日
*酸性雨について 環境庁国立公害研究所 大喜多敏一
- 〔第15期〕 昭和61年11月25日
*研究所・実験室における廃液処理問題について 京都大学環境保全センター 高月 紘
- 〔第16期〕 昭和62年11月11日
*バイオテクノロジーと廃水処理について 大阪大学 橋本 奨
- 〔第17期〕 昭和63年11月15日
*土壌生態系におよぼす重金属の影響 大阪府立大学 駒井 豊
- 〔第18期〕 平成元年11月13日
*嗅覚とニオイ計測 大阪ライフエレクトロニクス研究センター 外地光雄
- 〔第19期〕 平成2年12月13日
*微量化学物質のリスク・アセスメント 大阪大学 盛岡 通
- 〔第20期〕 平成3年12月12日
*クウェートの大気汚染について (財)京都工場保健会 吉田克巳
- 〔第21期〕 平成4年12月11日
*Biominerals Metabolism During Various Stages of Human Development
アメリカ商務省化学技術研究所 G. V. Iyengar
*中国の大気汚染の現状と汚染物質の測定法
上海華東化工学院化工環境工程研究所 張 大年
- 〔第22期〕 平成5年11月29日
*有害化学物質の環境汚染
京都大学工学部附属環境微量汚染制御実験施設 松井三郎

- 〔第 23 期〕 平成 6 年 11 月 25 日
* I S O 9 0 0 3 の概要
(財)化学品検査協会品質システム部 高木 博
- 〔第 24 期〕 平成 7 年 11 月 22 日
* 化学生態学ってなに？
立命館大学理工学部 深海 浩
- 〔第 25 期〕 平成 8 年 11 月 25 日
* 地球の温暖化と異常気象
(財)日本気象協会顧問・京都大学名誉教授 山元龍三郎
- 〔第 26 期〕 平成 9 年 11 月 17 日
* 地球環境問題の視点からみた瀬戸内海の環境の変化
徳島文理大学 未来科学研究所・香川大学名誉教授 岡市友利
- 〔第 27 期〕 平成 10 年 11 月 18 日
* 環境ホルモンによる水質汚染とその対策
京都大学附属環境質制御研究センター 松井三郎
- 〔第 28 期〕 平成 11 年 11 月 18 日
* ダイオキシン類の最近の話題と問題点 摂南大学薬学部 宮田秀明
* ダイオキシン類の発生とその削減技術
大阪府立大学工学部化学工学科 宮南 啓
- 〔第 29 期〕 平成 12 年 11 月 20 日
* 環境分析とリスクコミュニケーション
国立医薬品食品衛生研究所 関沢 純
- 〔第 30 期〕 平成 13 年 11 月 27 日
* 環境中ダイオキシン類の異性体分析と起源推定
兵庫県立公害研究所 中野 武
- 〔第 31 期〕 平成 14 年 11 月 28 日
* 法化学における薬毒物分析
大阪府警察本部科学捜査研究所法医研究室 土橋 均
- 〔第 32 期〕 平成 15 年 11 月 28 日
* 原子スペクトル分析法による環境分析の新動向：微量元素の化学種分析
大阪府立大学大学院工学研究科 中原武利

- [第 33 期] 平成 16 年 11 月 19 日
* P O P s をとりまく最近の動向
大阪市立環境科学研究所 福島 実
- [第 34 期] 平成 17 年 11 月 25 日
* V O C の規制とその対策
社団法人におい・かおり環境協会 岩崎好陽
- [第 35 期] 平成 18 年 11 月 24 日
* 淀川自然環境の変遷
大阪工業大学 綾 史郎
- [第 36 期] 平成 19 年 11 月 20 日
* 不安定化学種の電気分析化学
公立大学法人大阪市立大学大学院理学研究科 市村彰男
- [第 37 期] 平成 20 年 11 月 25 日
* 水圏底質を用いた環境汚染の歴史トレンドの解析
近畿大学理工学部生命科学科 山崎秀夫
- [第 38 期] 平成 21 年 11 月 30 日
* 水圏に溶存する有機物の蛍光スペクトル分析と質量分析によるキャラクタリゼーション
兵庫県立大学環境人間学部 杉山裕子
- [第 39 期] 平成 22 年 11 月 29 日
* 琵琶湖のイサザはなぜ死んだのか？
京都大学化学研究所 宗林由樹
- [第 40 期] 平成 23 年 11 月 21 日
* 水質公定分析法見直しの動向
愛媛大学客員教授（非常勤講師） 福島 実
- [第 41 期] 平成 24 年 11 月 26 日
* 環境分析への挑戦
大阪府立大学産学官連携機構特認教授 前田泰昭

[3] 技術講演会

- 第1回 昭和47年12月21日 於：大阪科学技術センター
* 大気関係研究会に対する問題点の整理 大阪府立公衆衛生研究所 長谷川利雄
* 水質関係研究会に対する問題点の整理 大阪市立衛生研究所 宇野源太
* 粉塵及び海底土壌中の金属成分分析共同実験のまとめ 大阪府立工業技術研究所 濱口隆信
- 第2回 昭和48年1月19日 * 資料No.1 於：大阪市中央公会堂
* PCB分析法の問題点 愛媛大学 立川 涼
- 第3回 昭和48年2月19日 * 資料No.2 於：大阪市立工業研究所
* シアン廃水の分析法の問題点 大阪市立工業研究所 東蒲六代
* 重金属分析法の問題点 大島哲夫
- 第4回 昭和48年3月19日 * 資料No.3 於：大阪科学技術センター
* 窒素酸化物について 大阪市立衛生研究所 中土井隆
* 窒素酸化物の化学 大阪大学 増田 勲
* 窒素酸化物の測定法の問題点 大阪市立工業研究所 黒田大介
- 第5回 昭和48年5月15日 * 資料No.4 於：大阪市立工業研究所
* 媒塵の測定法 大阪府立公衆衛生研究所 長谷川利雄
* 粉塵（浮遊粒子状物質）の測定器 紀本電子工業 坂内 誠
- 第6回 昭和48年6月28日 * 資料No.5 於：関西産業公害防止センター
* 産業公害防止対策について 大阪通産局 南 敏雄
* 関西産業公害防止センター紹介と見学 関西産業公害防止センター 今西揖吾
* 油分測定の問題点 大阪工業技術試験所 萩原一芳
- 第7回 昭和48年10月29日 於：大阪市立工業研究所
* 悪臭の測定技術と測定器 柳本製作所 北村弘志
* 悪臭の分析事例 兵庫県公害研究所 奥野年秀
- 第8回 昭和49年1月22日 於：大阪市立工業研究所
* 環境測定の問題点と経済性 栗田工業 藪下正記

- 第9回 昭和49年3月13日 於：大阪科学技術センター
 ＊環境管理分析へのX線の利用 兵庫県工業試験所 橋詰源蔵
- 第10回 昭和49年4月20日 ＊資料No.11 於：大阪科学技術センター
 ＊JIS法の問題点 東京都工業試験所 植松喜稔
 公害資源研究所 梅崎芳美
- 第11回 昭和49年5月23日 於：大阪府立工業技術研究所
 ＊高分子材料の燃焼生成ガス 大阪府立工業技術研究所 平松謹司
 ＊工場環境管理の実施例 松下電子工業 大塚 繁
- 第12回 昭和49年7月22日 於：近畿富山会館
 ＊共同実験結果報告 第二部会長 大阪市立衛生研究所 宇野源太
 第三部会長 大阪府立工業技術研究所 濱口隆信
- 第13回 昭和49年10月29日 於：近畿富山会館
 ＊欧米における廃棄物処理の現況大阪工業大学 新良宏一郎
 ＊米国における吸着技術による廃水処理の現況
 大阪市立工業研究所 北川睦夫
- 第14回 昭和49年12月9日 於：大阪科学技術センター
 ＊環境計量士国家試験説明会
- 第15回 昭和50年1月22日 於：大阪科学技術センター
 ＊計量関係法規 計量研 大岸修一
 ＊計量管理概論 田辺製薬 後久忠雄
- 第16回 昭和50年2月3日 於：大阪科学技術センター
 ＊ヨーロッパの公害計測研究機関をおとずれて
 大阪工業技術試験所 日色和夫
 ＊標準ガスの作り方 スタンダードテクノロジー 大島継影
- 第17回 昭和50年4月15日 ＊資料No.13 於：大阪科学技術センター
 ＊固体質量分析による浮遊粉じん 大阪府公害監視センター 杉前昭好
 ＊GC-MASS法による環境汚染物質の分析
 大阪府公害監視センター 桑田一弘

- 第 18 回 昭和 50 年 5 月 27 日 *資料No.14 於：近畿富山会館
 *フタル酸エステルおよび有機塩素化合物の分析について 大阪市立環境科学研究所 福嶋 実
 *バナジウム・セレンの分析について 大阪府公害監視センター 久下芳生
- 第 19 回 昭和 50 年 8 月 25 日 於：大阪科学技術センター
 *光化学大気汚染の最近の話題 大阪市立環境科学研究所 中土井隆
 *発生源における液化水素類の分析法について 大阪府公害監視センター 桑田一弘
- 第 20 回 昭和 50 年 10 月 14 日 於：近畿富山会館
 *テキサスにおける環境汚染処理システム 大阪府立工業技術研究所 吉田総夫
 *欧州における都市公害対策と測定技術 大阪府公害監視センター 久下芳生
- 第 21 回 昭和 51 年 3 月 19 日 於：近畿富山会館
 *イオン選択性電極の基礎と新しいイオン選択性電極 大阪工業技術試験所 日色和夫
 *イオン電極による測定の問題点 柳本製作所 安盛善一
- 第 22 回 昭和 51 年 4 月 10 日 於：大阪科学技術センター
 *環境科学における分析化学の技術 フロリダ大学 Laitinen
- 第 23 回 昭和 51 年 9 月 28 日 於：近畿富山会館
 *機器分析における検出限界・再限性について 大阪工業技術試験所 大角泰章
 *分析誤差（ばらつき）に関連した 3 つの問題点 住化分析センター 渡部俊郎
- 第 24 回 昭和 51 年 11 月 9 日 於：大阪科学技術センター
 *悪臭防止法について 大阪府生活環境部 吉田誠宏
 *悪臭法にもとづいた測定について 大阪府公害監視センター 松尾 謙
- 第 25 回 昭和 52 年 9 月 9 日 於：近畿富山会館
 *共同実験における異常値の扱い方について 京都大学 小島次雄

- 第 26 回 昭和 52 年 12 月 14 日 於：大阪科学技術センター
 ＊作業環境測定法のデザインおよびサンプリング
 大阪市立環境科学研究所 山岡茂夫
 ＊衛生管理における環境測定の意義—許容濃度について—
 大阪府立公衆衛生研究所 原 一郎
- 第 27 回 昭和 53 年 2 月 22 日 於：大阪科学技術センター
 ＊下水道法の改正（動向）について 大阪市下水道局 南坊憲司
 ＊公害罪の適用について 大阪府公害監視センター 浅田真吾
- 第 28 回 昭和 53 年 3 月 23 日 於：大阪科学技術センター
 ＊天然水中の無機窒素化合物について 京都大学食糧科学研究所 河合 章
- 第 29 回 昭和 53 年 5 月 18 日 於：大阪科学技術センター
 ＊瀬戸内海における富栄養化と赤潮について 水産庁 村上彰男
- 第 30 回 昭和 53 年 6 月 12 日 於：大阪科学技術センター
 ＊作業環境測定について—特定化学物質・有機溶剤— 大阪大学 関 幸雄
 ＊作業環境測定における分析に関する概論 近畿大学 岡崎雄交
- 第 30 回 昭和 55 年 1 月 22 日 於：大阪科学技術センター
 ＊統計的方法 大阪府立工業技術研究所 浜野 潔
- 第 31 回 昭和 55 年 5 月 27 日 於：大阪科学技術センター 資料No.36
 ＊総量規制制度について 大阪市下水道局 樟隆一郎
 ＊水質自動計測器のフィールドテストについて 大阪市下水道局 福智真和
 —COD 自動分析装置説明—
- 第 32 回 昭和 55 年 10 月 6 日 資料No.39 於：大阪科学技術センター
 ＊総量規制と全自動 COD 測定装置について 松下電器産業 平田 寛
- 第 33 回 昭和 56 年 2 月 27 日 資料No.41 於：神戸商船大学
 ＊大阪湾の汚染について 神戸海洋气象台 山本克己
 ＊最近の海洋の油汚染とその防止技術 神戸商船大学 近藤五郎
- 第 34 回 昭和 56 年 5 月 26 日 於：大阪科学技術センター
 ＊化学物質の分析方法 大阪市立環境科学研究所 加藤敬香

- 第 35 回 昭和 56 年 11 月 17 日 資料No.46 於：大阪科学技術センター
 * ICP 発光分光分析の基礎 大阪府立大学 中原武利
 * ICP 発光分光分析の環境分析への応用 大阪府公害監視センター 杉前昭好
- 第 36 回 昭和 57 年 3 月 1 日 於：大阪科学技術センター
 * 工場排水の“公定分析法”について 大阪府公害監視センター 久下芳生
- 第 37 回 昭和 57 年 6 月 28 日 於：大阪科学技術センター
 * 環境中の微量リンの自動分析 大阪工業技術試験所 日色和夫
 * 臨床検査における自動化の現状 大阪府成人病センター 松宮和人
- 第 38 回 昭和 57 年 12 月 2 日 於：大阪化学繊維会館
 * 環境分析におけるイオン電極の利用 日科機 岡別府正人
 * 環境分析におけるオートアナライザーの利用 日本テクニコン 三蒲 剛
- 第 39 回 昭和 58 年 5 月 31 日 資料No.50 於：大阪科学技術センター
 * 高速液体クロマトグラフの基礎 大阪府立工業技術研究所 浜野 潔
 * 高速液体クロマトグラフィーを用いる環境分析 大阪府立公害監視センター 桑田一弘
- 第 40 回 昭和 58 年 7 月 5 日 於：大阪科学技術センター
 * ばいじん規制に関すること 大阪府生活環境公害センター 高林幸和
- 第 41 回 昭和 58 年 8 月 31 日 資料No. 52 於：大阪科学技術センター
 —大気中の有機溶剤の分析に関するパネルディスカッション—
 * バック（ビン）洗浄装置について 住化分析センター 小川芳典
 * 作業環境測定における有機溶剤標準ガ六の調整方法 日立造船 三石預嘉
 * 有機溶剤ガスのサンプリングと分析方法について
 —活性炭管補集法とガスクロマトグラフ分析— 神戸環境分析センター 佐川福雄
 * 環境大気中の酸化エチレン濃度の測定 泉北環境技術センター 東谷 博
- 第 42 回 昭和 58 年 9 月 8 日 於：大阪科学技術センター
 * イオンクロマトグラフ法の基礎 大阪工業技術試験所 田中 孝
 * イオンクロマトグラフィーの環境分析への応用 大阪府公害監視センター 高見勝重
- 第 43 回 昭和 59 年 3 月 9 日 於：大阪科学技術センター
 * 生物指標による環境調査 淡水生物研究所 森下郁子

- 第 44 回 昭和 59 年 4 月 17 日 資料No.55 於：近畿富山会館
* 変異原性テスト 大阪市立環境科学研究所 黒田孝一
- 第 45 回 昭和 59 年 8 月 28 日 資料No.55 於：大阪大学工業会館
* ふんじんの測定－サンプリングの問題点、測定法について－ 紀本電子工業 紀本岳志
* 大気エアロゾル粒子の多元素分析とその応用 大阪府立放射線中央研究所 溝畑 朗
- 第 46 回 昭和 59 年 10 月 22 日 資料No.57 於：大阪市水道局
* 低沸点有機ハロゲン化合物（トリハロメタンを中心に）の問題点と分析方法について 大阪市水道局 梶野勝司
- 第 47 回 昭和 60 年 4 月 22 日 於：大阪大学工業会館
* 微生物における統計処理 ー環境における分析値の統計解析法ー 近畿大学 米虫節夫
- 第 48 回 昭和 60 年 7 月 3 日 於：大阪大学工業会館
* 分析室における安全対策 大阪府消防学校 川東英雄
* JISK0102 改正（特に窒素、りんを中心に）について 大阪府公害監視センター 久下芳生
- 第 49 回 昭和 60 年 8 月 28 日 於：大阪市立工業研究所
* 大気中の有機化合物の測定法 大阪府立大学 前田泰昭
* 発生源における有機汚染物質の測定 大阪府公害監視センター 桑田一弘
* 塩素化化合物の測定 大阪市立環境科学研究所 山本 武
* 塗装作業上及び大気中の有機溶剤の測定 神戸環境分析センター 佐川福雄
- 第 50 回 昭和 61 年 5 月 20 日 於：大阪大学工業会館
* キレートによる水処理について ユニチカ 中村保義
* 乾電池の処理について 野村興産 小池久米堆
- 第 51 回 昭和 61 年 6 月 4 日 資料No.65 於：大阪大学工業会館
* イオンクロマトグラフによる環境試料の分析 大阪府公害監視センター 高見勝重、中村雅雄
* イオンクロマトグラフの無機ガス分析への応用 大阪市立工業研究所 黒田大介

- 第 52 回 昭和 61 年 9 月 4 日 資料No.68 於：大阪科学技術センター
 ＊半導体用特殊材料ガスの環境保全対策 松下電子工業 大塚 繁
- 第 53 回 昭和 61 年 10 月 29 日 於：大阪大学工業会館
 ＊環境アセスメントの問題点 大阪府緑化・環境協会 熊澤宏正
- 第 54 回 昭和 62 年 1 月 27 日 資料No.70 於：大阪科学技術センター
 ー大気中の有機溶剤の分析法検討についてー
 ＊相平衡法による脱着率試験法について 大阪市立工業研究所 黒田大介
 ＊有機溶剤測定法について コベルコ科研 佐川福堆
 ＊TenaxGC 管を用いる炭化水素の分析について 大阪府立大学 前田泰昭
- 第 55 回 昭和 62 年 2 月 4 日 資料No.70 於：大阪大学工業会館
 ＊環境中での残留塩素の挙動 大阪市立環境科学研究所 山本耕司
- 第 56 回 昭和 62 年 5 月 20 日 資料No.72 於：大阪科学技術センター
 ＊ICP 発光分析の最近の話題 大阪府立工業技術試験所 杉前昭好
- 第 57 回 昭和 62 年 6 月 16 日 資料No.74 於：大阪府立大学工学部
 ＊BOD 測定における 2, 3 の問題点 大阪市水道局 森 孝志
 ＊微生物センサーによる BOD 計測 大阪工業技術試験所 東 国茂
- 第 58 回 昭和 62 年 9 月 21 日 於：大阪府臨海センタービル
 ＊大気汚染物質の測定あれこれ 大阪府立大学 宗森 信
 ＊DO メーターのパソコンによるデータ処理について
 日本気象協会 辰田 裕
 日本気象協会 島貫 守
- 第 59 回 昭和 62 年 9 月 29 日 於：大阪大学工業会館
 ＊泉大津市における三点比較式臭袋による悪臭の測定 泉大津市役所 市野孝治
 ＊においについて 塩野香料 山部人道
- 第 60 回 昭和 63 年 5 月 10 日 資料No.77 於：大阪府立大学学術交流会館
 ＊官能試験法による臭気調査と住民意識 関西産業公害防止センター 佐川直史
 ＊各種発生源悪臭発生実態とその対策事例
 ー中小企業の製造工場を中心としてー
 大阪市立環境科学研究所 福山丈二

- 第 61 回 昭和 63 年 5 月 17 日 於：大阪市立環境科学研究所
* 環境庁統一制度管理調査の分析方法について 大阪工業技術試験所 日色和夫
- 第 62 回 昭和 63 年 6 月 27 日 於：大阪科学技術センター
* アスベストによる環境汚染の問題について
大阪市立環境科学研究所 森 義明
- 第 63 回 昭和 63 年 8 月 10 日 資料No.79 於：大阪府立大学学術交流会館
* 分析データの取り扱い方（その 1）－検量線－
大阪府立大学名誉教授 宗森 信
- 第 64 回 昭和 63 年 10 月 12 日 資料No.81・82 於：大阪科学技術センター
* ICP を用いた分析法について 大阪ガス 北川民哉
* 底質調査法について 大阪工業技術試験所 日色和夫
- 第 65 回 昭和 63 年 11 月 28 日 資料No.83 於：大阪府立大学学術交流センター
* 分析データの取り扱い方（その 2）－サンプリング－
大阪府立大学名誉教授 宗森 信
- 第 66 回 平成元年 4 月 14 日 於：大阪科学技術センター
* 有機溶剤の分析方法マニュアル説明 大阪市立工業研究所 黒田大介
- 第 67 回 平成元年 5 月 22 日 於：大阪科学技術センター
* 有機スズ化合物の分析について 大阪府緑化・環境協会 高見勝重
- 第 68 回 平成元年 7 月 11 日 資料No.88 於：大阪府立大学学術交流センター
* 分析データの取り扱い方（その 3）－データ質管理とサンプリング－
大阪府立大学名誉教授 宗森 信
- 第 69 回 平成元年 11 月 2 日 於：大阪科学技術センター
* 機器メーカー 6 社による ICP 発光分析装置の説明会
- 第 70 回 平成 2 年 4 月 10 日 資料No.90 於：大阪府立大学学術交流センター
* 分析データの取りまとめ方（その 4）－ノンパラメトリック法－
大阪府立大学名誉教授 宗森 信
- 第 71 回 平成 2 年 4 月 11 日 於：大阪科学技術センター
* ICP 発光分析法の基礎的研究 一水素化物発生法及び前処理法について－
大阪府公害監視センター 中村 智

- 第 72 回 平成 2 年 4 月 18 日 於：大阪市立工業研究所
* 機器メーカー 5 社によるイオンクロマトグラフィー装置説明会
- 第 73 回 平成 2 年 4 月 26 日
* 関西新空港建設現場視察
- 第 74 回 平成 2 年 6 月 12 日 於：大阪倶楽部
* 低級脂肪酸の分析方法について 大阪府公害監視センター 河野伴弥
- 第 75 回 平成 2 年 7 月 17 日 於：大阪科学技術センター
* イオンクロマトグラフの利用状況 大阪市立工業研究所 黒田大介
* 超純水の JIS 試験法について 三菱電機 吉留昭男
- 第 76 回 平成 2 年 9 月 17 日 資料No.94 於：大阪科学技術センター
* リン規制とその除去技術の現状 大阪市下水道局 嶋岡忠敬
- 第 77 回 平成 2 年 10 月 22 日 資料No.95 於：大阪市立工業研究所
* 酸性雨の分析法 関西公害防止センター 吉岡則夫
* 酸性雨の問題について 大阪市立環境科学研究所 藁料宗博
- 第 78 回 平成 2 年 12 月 18 日 資料No.96 於：大阪科学技術センター
* 分析データの取りまとめ方 (その 5) 大阪府立大学名誉教授 宗森 信
- 第 79 回 平成 3 年 1 月 28 日 資料No.97 於：大阪科学技術センター
* 湖沼の水質汚染と自動計測 大阪工業技術試験所 東 国茂
- 第 80 回 平成 3 年 5 月 8 日 資料No.101 於：大阪科学技術センター
* 浮遊ふんじん中の無機イオンについて 大阪府公害監視センター 岡 憲司
* イオンクロマトグラフの応用例 コベルコ料研 佐川福雄
- 第 81 回 平成 3 年 6 月 25 日 資料No.102 於：大阪科学技術センター
* 低沸点有機化合物の分析について 関西産業公害防止センター 千葉悦子
* バーセル条約について 大阪市下水道局 嶋岡忠敬
- 第 82 回 平成 3 年 8 月 1 日 資料No.105 於：大阪府立大学学術交流センター
* ダイオキシンの分析方法について 大阪府公害監視センター 桑田一弘

- 第 83 回 平成 3 年 10 月 23 日 資料No.107 於：大阪倶楽部
* 農薬分析について 大阪府公害監視センター 奥村鶏男
- 第 84 回 平成 4 年 2 月 28 日 於：大阪科学技術センター
* 地球環境のクリーン化 大阪府立大学 前田泰昭
- 第 85 回 平成 4 年 5 月 27 日 資料No.109 於：大阪市立工業研究所
* 環境汚染物質の水質分析
一有機スズ化合物を中心として一 大阪府公害監視センター 服部幸和
- 第 86 回 平成 4 年 9 月 4 日 於：大阪科学技術センター
* イオンクロマトグラフ装置の最近の進歩 日本ダイオネクス 高畑善和
- 第 87 回 平成 4 年 9 月 29 日 於：大阪府立大学学術交流センター
* イオウ化合物のガスクロ分析の問題点 大阪ガス 佐々木象二郎
- 第 88 回 平成 4 年 10 月 30 日 資料No.112 於：大阪科学技術センター
* 大阪市内河川の水質評価と水辺環境の再生
大阪市立環境科学研究所 土永恒治彌
- 第 89 回 平成 4 年 12 月 11 日 於：大阪科学技術センター
* パージアンドトラップを用いる GC/MS による環境汚染物質の分析
大阪府公害監視センター 今村 清
- 第 90 回 平成 5 年 5 月 28 日 資料 No. 114 於：大阪市立環境科学研究所
水質環境基準改正にかかわる測定法の概要について
* 揮発性化合物 大阪府公害監視センター 服部幸和
* 金属類 大阪府公害監視センター 中村 智
- 第 91 回 平成 5 年 6 月 24 日 資料 No. 115 於：大阪市立工業研究所
* 環境分析におけるイオンクロマトグラフィー
横川アナリティカルシステムズ（株） 井上嘉則
- 第 92 回 平成 5 年 8 月 23 日 於：大阪府立大学学術交流会館
* 悪臭防止法の経緯と改正内容
大阪環境保健部環境局 大川和伸

- 第 93 回 平成 5 年 9 月 1 7 日 資料 No. 118 於：大阪科学技術センター
 * 超微量無機分析の設計と開発 (株) 住化分析センター 伊藤匡正
 * イオンクロマトグラフによる工業薬品中の微量陰イオン定量
 大阪市立工業研究所 河野宏彰
- 第 94 回 平成 5 年 1 0 月 1 4 日 資料 No. 120 於：大阪科学技術センター
 * 動植物油および鉱物油の識別方法について
 大阪市下水道局水質試験所 清水一弥
- 第 95 回 平成 6 年 5 月 1 3 日 於：大阪府立大学学術交流会館
 * 新規悪臭成分の測定 大阪市立環境科学研究所 増田淳二
- 第 96 回 平成 6 年 6 月 8 日 於：大阪科学技術センター
 排水基準の改正と基準項目の分析方法について
 * 排水基準の改正等について 大阪府環境局水質課 岡田好一
 * 揮発性有機化合物の分析方法について
 大阪府公害監視センター 高橋幸治
 * 金属類の分析方法について 大阪府公害監視センター 坂本明子
- 第 97 回 平成 6 年 7 月 4 日 資料 No. 121 於：大阪科学技術センター
 * 有害化学物質による環境汚染と排水中化学物質の酸化分解
 大阪工業技術研究所 東 国茂
- 第 98 回 平成 6 年 9 月 2 6 日 資料 No. 123 於：大阪科学技術センター
 * アスベストの分析法 (株) コベルコ科研 佐川福雄
 * 検出限界と定量限界 大阪府立大学名誉教授 宗森 信
- 第 99 回 平成 6 年 1 0 月 2 1 日 資料 No. 125 於：大阪科学技術センター
 * LC-MS 水質分析への応用 大阪府公害監視センター 上堀美知子
 * LC-MS の最近の動向と環境分析への応用
 (株) 日立製作所 望月康平
 * GC/MS、LC/MS によるゴルフ場使用農薬の検討
 日立計測エンジニアリング (株) 雫石賢一
- 第 100 回 平成 7 年 5 月 2 3 日 於：大阪府立大学学術交流会館
 * 低級脂肪酸の分析方法について 大阪府公害監視センター 多々野秀二
 * 大阪府条例新規有害物質の測定について
 大阪府公害監視センター 服部幸和

- 第 101 回 平成 7 年 6 月 2 8 日 資料 No. 126 於：大阪科学技術センター
 * 高槻市における土壌、地下水浄化対策について
 高槻市環境科学センター 秋山日東志
 * 都市河川における揮発性有機化合物の分布
 大阪市立環境科学研究所 山本耕司
- 第 102 回 平成 7 年 7 月 1 8 日 於：大阪科学技術センター
 * 阪神大震災における環境汚染
 (財) 関西環境管理技術センター 千葉悦子
- 第 103 回 平成 7 年 1 0 月 3 1 日 於：大阪科学技術センター
 * 溶媒 (デカン) 抽出法による水中の揮発性物質の分析
 大阪府公害監視センター 奥村為男
- 第 104 回 平成 8 年 5 月 2 3 日 於：大阪市水道局柴島浄水場
 * 最近の水道界での話題について
 * 最近の水道における調査課題について
 大阪市水道局柴島浄水場水質試験場 新妻啓壽
- 第 105 回 平成 8 年 6 月 2 7 日 資料 No. 129 於：大阪市立工業研究所
 * 水田施用農薬の琵琶湖流域での流出
 滋賀県立大学環境科学部 須戸 幹
 * 環境中の農薬分析のための固相抽出
 シグマ・アルドリッチジャパン (株) 福永徳人
- 第 106 回 平成 8 年 1 0 月 8 日 於：大阪府立大学学術交流会館
 * キャニスターと固体濃縮による有害大気汚染物質の定量
 大阪府公害監視センター 今村 清
- 第 107 回 平成 8 年 1 1 月 6 日 資料 No. 131 於：大阪科学技術センター
 * 淀川水系における農薬の挙動
 大阪市立環境科学研究所 山口之彦
- 第 108 回 平成 8 年 1 2 月 1 6 日 於：大阪市立工業研究所
 * 有害大気汚染物質の優先取組み物質について
 大阪市立環境科学研究所 藁科宗博

- 第 109 回 平成 9 年 7 月 1 日 資料 No. 133 於：大阪科学技術センター
 * VOC 分析の問題点と対処方法について（対象：水試料）
 大阪市下水道局管理部 小椋淳二
 * フレームレス原子吸光光度計の設定条件と ICP-MS との測定値比較
 （マンガン、ヒ素、クロムを例として）
 大阪市水道局水質試験所 上口浩幸
- 第 110 回 平成 9 年 10 月 29 日 資料 No. 135 於：大阪科学技術センター
 * ダイオキシン分析について 大阪市立環境科学研究所 先山孝則
- 第 111 回 平成 9 年 11 月 25 日 於：大阪科学技術センター
 * 大気中の VOC 分析について 大阪府公害監視センター 今村 清
- 第 112 回 平成 10 年 7 月 2 日 資料 No. 137 於：大阪市立環境科学研究所
 * 環境ホルモンについて 大阪市立大学医学部 黒田孝一
- 第 113 回 平成 10 年 10 月 30 日 資料 No. 138 於：大阪科学技術センター
 * 健康住宅と室内空気汚染について 健康住宅推進協議会 吉田佐門
- 第 114 回 平成 11 年 6 月 29 日 於：大阪市立環境科学研究所
 * ISO ガイド 25 について (財) 日本品質保証機構 山本 武
- 第 115 回 平成 11 年 10 月 27 日 於：大阪科学技術センター
 * 有害大気汚染物質測定用標準ガスの開発状況について
 太陽東洋酸素（株） 森脇保志
- 第 116 回 平成 11 年 11 月 2 日 於：大阪科学技術センター
 * エムポアディスクによる分析例の紹介
 ジーエルサイエンス（株） 田中與三次郎
- 第 117 回 平成 12 年 6 月 7 日 於：大阪市下水道局平野下水処理場
 * 概要説明・見学
- 第 118 回 平成 12 年 6 月 14 日 資料 No. 143 於：大阪科学技術センター
 * 環境 ISO 最新動向と認証取得のメリット
 (財) 関西環境管理技術センター 佐川直史
 * 試験研究機関における環境 ISO 認証取得事例（15:10～16:30）
 (財) 関西環境管理技術センター 三納清司

- 第 119 回 平成 12 年 10 月 13 日 於：大阪科学技術センター
* 水環境中の内分泌攪乱物質の in vitro スクリーニング法
神戸女学院大学人間科学部 川合真一郎
- 第 120 回 平成 12 年 10 月 20 日 於：大阪科学技術センター
* 東アジアの大気汚染と材料の被害
大阪府立大学大学院工学研究科 前田泰昭
- 第 121 回 平成 13 年 6 月 6 日 於：大阪科学技術センター
* ダイオキシン類の分析と精度管理 (株) 島津テクノリサーチ 高菅卓三
- 第 122 回 平成 13 年 6 月 20 日 於：大阪科学技術センター
* 「室内空気汚染に係るガイドライン」(厚生労働省) について
* J I S 化への動向について
ジーエルサイエンス(株) 今中努志
- 第 123 回 平成 13 年 11 月 2 日 於：大阪科学技術センター
* 有害化学物質による地域汚染調査の手法について
兵庫県立公害研究所 吉岡昌徳
- 第 124 回 平成 14 年 6 月 19 日 於：大阪科学技術センター
* 分析の現場におけるデータの品質保証の方法
大阪市立工業研究所 河野宏彰
- 第 125 回 平成 14 年 6 月 19 日 於：大阪科学技術センター
* P R T R 法について
大阪府環境農林水産部環境指導室 山崎晶子
- 第 126 回 平成 14 年 10 月 25 日 於：大阪科学技術センター
* 化学発光窒素酸化物計の問題と窒素酸化物測定の最近の研究
大阪府立大学大学院工学研究科 竹中規訓
- 第 127 回 平成 14 年 11 月 1 日 於：大阪科学技術センター
* 有機汚染物質の G C / M S による定性・定量法
大阪市立環境科学研究所食品保健課 山口之彦
- 第 128 回 平成 15 年 6 月 18 日 於：大阪科学技術センター
* 内分泌攪乱化学物質の新規誘導体化と抽出との融合
大阪大学保全科学研究センター 角井伸次

- 第 129 回 平成 15 年 6 月 19 日 於：大阪科学技術センター
*ものづくりとしての分析化学 –はかつてなんぼの世界から–
紀本電子工業(株) 紀本岳志
- 第 130 回 平成 15 年 10 月 27 日 於：大阪科学技術センター
*超微量分析の窓辺から
大阪大学保全科学研究センター 矢坂裕太
- 第 131 回 平成 16 年 6 月 16 日 於：大阪科学技術センター
*HPLC 対応型 CNET*アルデヒドサンプラーの開発と性能
*: o-(4-シアノ-2-エトキシベンジル)ヒドロキシアミン
(株)住化分析センター 北阪和也
- 第 132 回 平成 16 年 10 月 28 日 於：大阪科学技術センター
*水質分析の歴史と今日の課題
(株)タツタ環境分析センター 土永恒弥
- 第 133 回 平成 17 年 6 月 22 日 於：大阪科学技術センター
*現場における簡易水質分析
(株)共立理化学研究所 岡内完治
- 第 134 回 平成 17 年 10 月 27 日 於：大阪科学技術センター
*作業環境中のアスベスト分析
(株)コベルコ科研 立花茂雄
- 第 135 回 平成 18 年 6 月 28 日 於：大阪科学技術センター
*ヘテロポリ酸物語 –化学分析の環境汚染を探る–
大阪大学名誉教授、立命館大学総合理工学研究機構 SR センター 池田重良
- 第 136 回 平成 18 年 10 月 27 日 於：大阪科学技術センター
*化学発光法と環境分析
大阪工業大学工学部応用化学科 藤森啓一
- 第 137 回 平成 19 年 6 月 26 日 於：大阪科学技術センター
*マイクロ波の基礎とその錯体合成への応用
重里学園・日本分析化学専門学校 増田嘉孝

- 第 138 回 平成 19 年 11 月 2 日 於：大阪科学技術センター
* フローインジェクション分析法による COD の計測
岡山理科大学理学部化学科 善木道雄
- 第 139 回 平成 20 年 6 月 24 日 於：大阪科学技術センター
* 食品における農薬の分析について
大阪市立環境科学研究所 山口之彦
- 第 140 回 平成 20 年 10 月 22 日 於：大阪科学技術センター
* 有機汚濁分析法と最近思うことについて
大阪工業大学工学部応用化学科 藤森啓一
- 第 141 回 平成 21 年 6 月 24 日 於：大阪科学技術センター
* イオンクロマトグラフィーの基礎と実分析の留意点
(株)島津製作所 寺田英敏
- 第 142 回 平成 21 年 10 月 28 日 於：大阪科学技術センター
* 大阪の川の変遷と今日の課題
元(株)タツタ環境分析センター、元大阪市立環境科学研究所 土永恒彌
- 第 143 回 平成 22 年 6 月 30 日 於：大阪科学技術センター
* LC/MS による環境試料の分析の実際
サーモフィッシャーサイエンティフィック(株) 山岸陽子
- 第 144 回 平成 22 年 10 月 27 日 於：大阪科学技術センター
* 水分析のための固相抽出のポイントと実際
ジーエルサイエンス(株) 今中努志
- 第 145 回 平成 23 年 6 月 29 日 於：大阪科学技術センター
* ヨルダン水事情
一般財団法人関西環境管理技術センター 千葉悦子
- 第 146 回 平成 23 年 10 月 26 日 於：大阪科学技術センター
* 連続流れ分析法と J I S 化の概要
ビーエルテック(株) 山下宗孝
- 第 147 回 平成 24 年 6 月 27 日 於：大阪科学技術センター
* 放射線計測法と放射線を利用した分析法
大阪府立大学放射線研究センター 谷口良一

第 148 回 平成 24 年 10 月 25 日 於：大阪科学技術センター

*実験データの扱い：Revisited

甲南大学工学部機能分子化学科 山本雅博

[4] 共同実験部会 (○印：部会長)

- 第1部会 海底土壌合成試料の分析 (昭和47年11月～昭和48年10月) *資料No.6
(Hg, Cr, Cd, Pb, As, PCB)
○濱口隆信 浜野 潔 日色和夫 大角泰章
- 第2部会 BODの測定 (昭和47年11月～昭和48年10月) *資料No.9
(河川水, 工場廃水, 合成下水)
○宇野源太 鶴保謙四郎 久下芳生 八木正一
- 第3部会 河川底質の分析 (昭和48年11月～昭和49年10月) *資料No.8・10
(環境庁水質保全局 暫定底質調査方法)
○濱口隆信 浜野 潔 日色和夫 大角泰章 久下芳生
- 第4部会 NOx測定 (昭和48年11月～昭和50年10月) *資料No.15
○長谷川利雄 黒田大介 松屋 謙 中土井
- 第5部会 COD測定、n-ヘキサン分析 (昭和48年11月～昭和49年10月) *資料No.21・22
○宇野源太 福永 勲 久下芳生 小篠 薫 川合真一郎 萩原一芳
八木正一 浜野 潔
- 第6部会 排水中の重金属分析 (昭和49年11月～昭和50年10月) *資料No.19
- 第7部会 スラッジ中の有害物質溶出試験 (昭和50年11月～昭和53年10月) *資料No.26
○長谷川利雄 中曾根尚 浜野 潔 鶴保謙四郎 久下芳生 藤原浜雄
北村耕二
- 第8部会 下水汚泥中の有害物質の分析 (昭和50年11月～昭和53年10月) *資料No. 29
○南坊憲司 白庄司宏 北川睦夫 久下芳生 土永恒彌 浜野 潔
- 第9部会 排水中のPの定量法 (昭和51年11月～昭和54年10月) *資料No. 33
○日色和夫 久下芳生 浜野 潔 芳倉太郎 飯田 博 藤原浜雄 湊 敏雄
- 第10部会 水中のNの定量法 (昭和53年11月～昭和55年10月)
○日色和夫 久下芳生 浜野 潔 石吞 寿 岡田邦夫 飯田 博
藤原浜雄 湊 敏雄

- 第 11 部会 アンモニア態窒素の分析 (昭和 54 年 11 月～昭和 56 年 10 月)
 ○日色和夫 久下芳生 浜野 潔 石谷 寿 岡田邦夫 吉岡則夫
 藤原浜雄 湊 敏雄
- 第 12 部会 水中の全窒素の定量 (昭和 55 年 11 月～昭和 5 丁年 10 月) * 資料No.48
 ○日色和夫 久下芳生 浜野 潔 石谷 寿 岡田邦夫 吉岡則夫
 藤原浜雄 中川 宏
- 第 13 部会 有機溶剤の分析 (昭和 55 年 11 月～昭和 58 年 10 月) * 資料No.51・61
 ○黒田大介 佐川福雄 福居喜一 木下忠土 矢野鶴竹 東谷 博
 木佐貫憲二
- 第 14 部会 低濃度の NOx の分析 (昭和 57 年 11 月～昭和 59 年 10 月) * 資料No.49・54・56
 ○中土井隆 黒田大介 久下芳生 前田泰昭 近藤 潔 佐川福雄
 柳本喜武 三石茂嘉
- 第 15 部会 加圧分解法を用いる全 P、全 N の分析 (昭和 57 年 11 月～昭和 59 年 10 月)
 ○久下芳生 日色和夫 浜野 潔 大川和伸 岡田邦夫 吉岡則夫
 林 久明 吉田隆次 中川 宏
- 第 16 部会 大気中の有機溶剤の分析 (昭和 59 年 11 月～昭和 62 年 10 月)
 * 資料No.61・62・63・66・73・75
 ○黒田大介 前田泰昭 田中誠治 佐川福雄 木下忠土 木佐貫憲二
 河野省三 川西健一
- 第 17 部会 BOD の測定分析 (昭和 59 年 11 月～昭和 62 年 10 月)
 * 資料No.64・67・71・76
 ○久下芳生 小田國雄 東 国茂 高見勝重 森 孝志 安田千之
 岡 秀紀 辰田 裕 森崎慶二
- 第 18 部会 悪臭測定 (昭和 62 年 11 月～平成元年 10 月)
 * 資料No.78・86・89・92・97・104・108・113・116・122・127・132
 ○前田泰昭 黒田大介 河野省三 木佐貫憲二 木下忠土 佐川直史
 佐川福雄 金行正雄 新巻 博 田中誠治 吉沢秀敏 河野伴弥
 奥本義雄 佐藤正敏 藤瀬剛一
- 第 19 部会 重金属の測定 (昭和 62 年 11 月～平成 2 年 10 月) * 資料No.80・87・91・99
 ○小田國雄 東 国茂 北川民哉 嶋岡忠敬 辰田 裕 高見勝重
 千葉悦子 土永恒彌 中川 宏 中村 智

第 20 部会 イオンクロマトグラフ分析（平成元年 11 月～平成 8 年 10 月）

* 資料No.93・100・103・110・117

○黒田大介 藁科宗博 佐川福雄 岡 憲司 坪井利夫 中川 宏
吉留照夫 西沢 実 吉岡則夫 伊藤匡正 倉本一姓

第 21 部会 ハイテク汚染の計測（平成 2 年 11 月～平成 7 年 10 月）

* 資料No.106・111・119・124・128

○東 国茂 北川民哉 中村 智 中村史朗 千葉悦子 土永恒彌
服部幸和 清水一弥 辰田 裕

第 22 部会 新規規制項目の水質分析（平成 7 年 11 月～平成 18 年 10 月）

* 資料No.130・134・140・142・144・146・149・150・152・154・156

○中川 宏 浅野昌弘 伊賀益司 河野宏彰 辰己充弘 千葉悦子 土永恒彌
中村史朗 橋本良彰 山口 實 山口之彦

第 23 部会 有害大気汚染物質の分析（平成 8 年 11 月～平成 18 年 10 月）

* 資料No.136・139・141・145・147・148・151・153・155・157

○今村 清 池田和枝 井上壽一 江口正治 大平修平 白國忠志 竹中規訓
田代恭久 田中健人 立花茂雄 角井伸次 中原 忠 福西淳一 福西朋子
藤森啓一 矢坂裕太

第 35 期 排水中の COD, Cr⁶⁺の分析（平成 18 年 11 月～平成 19 年 10 月）

* 資料No.158

○中川 宏 浅野昌弘 池田和枝 小川浩司 河野宏彰 粉川 猛 白國忠志
辰己充弘 土永恒彌 角井伸次 福西淳一 藤森啓一 山口之彦

第 36 期 排水中の COD, 硝酸イオンの分析（平成 19 年 11 月～平成 20 年 10 月）

* 資料No.159

○中川 宏 浅野昌弘 池田和枝 河野宏彰 粉川 猛 白國忠志 福西淳一
藤森啓一 山口之彦

第 37 期 排水中の COD, 全窒素の分析（平成 20 年 11 月～平成 21 年 10 月）

* 資料No.160

○中川 宏 浅野昌弘 池田和枝 河野宏彰 粉川 猛 杉田啓輔 竹中規訓
福西淳一 藤森啓一 山口之彦

第 38 期 環境水中の 1,4-ジオキサンの検証実験、有機物を大量に含む水中の鉛および銅
の分離定量〈平成 21 年 11 月～平成 22 年 10 月〉

* 資料No.161

○竹中規訓 浅野昌弘 池田和枝 河野宏彰 粉川 猛 杉田啓輔
中島陽一 福西淳一 藤森啓一 山口之彦

第 39 期 パッシブサンプラーを使用した使用した室内空気中の VOC およびアルデヒド類分
析の検証実験〈平成 22 年 11 月～平成 23 年 10 月〉

* 資料No.162

○竹中規訓 浅野昌弘 池田和枝 河野宏彰 粉川 猛 杉田啓輔
中島陽一 福西淳一 藤森啓一 山口之彦

第 40 期 全窒素の測定およびキレートディスクを使った標準添加法による金属イオン分
析の検証実験〈平成 23 年 11 月～平成 24 年 10 月〉

* 資料No.163

○竹中規訓 浅野昌弘 池田和枝 河野宏彰 粉川 猛 杉田啓輔
中島陽一 福西淳一 藤森啓一

[5] 検討部会・マニュアル作成部会（○印：部会長）

－検討部会－

第1 検討部会 クロム分析 * 報文 (3)

○日色和夫 浜野 潔 大角泰章 吉仲 平 前 弘 藤原浜雄
濱口隆信

第2 検討部会 油分測定 * 資料No.25

○宇野源太 浜野 潔 久下芳生 小篠 薫 川合慎一郎 山本宏司
西本 博 渡部 惇 藤田芳雄

第3 検討部会 ばいじん・有害ガス * 資料No.30

○松尾 謙 黒田大介 中土井隆 田中正室 近藤 潔

第4 検討部会 ばいじん測定 * 資料No.31

○松尾 謙 黒田大介 中土井隆 田中正室 近藤 潔

第4 検討部会 無機ガス等の分析 * 資料No.40

○黒田大介 佐川福雄 福居喜一

第4 検討部会 大気測定部会 * 資料No.35・38・42・43・45・47

○黒田大介 佐川福雄 福居喜一 木下忠士 矢野鶴竹 東谷 博
木佐貫憲二

第5 検討部会 CODの分析 * 資料No.44

○福智真和 久下芳生 浜野 潔 岡田邦夫 小田國雄 中平 亨

－マニュアル作成部会－

BOD測定法 * 学会報告 (13)

○高見勝重 小田国雄 東 国茂 嶋岡忠敬 森 孝志 安田千之
岡 秀紀 辰田 裕

有機溶剤測定法 * 資料No.85

○黒田大介 前田泰昭 佐川福雄 三石茂嘉 河野省三 東谷 博
木佐貫憲二 木下忠士 矢野鶴竹 川西健一 吉沢秀敏 新谷 博
田中誠治 河野伴弥 佐川直史 永島久徳

〔6〕見学研修会・会員交流会

－見学研修会－

昭和50年6月27日～28日 於：白浜・千成荘

講演 環境測定の将来性 大阪大学 新良宏一郎
民間分析機関の運営について 大阪化学分析センター 田中 工
見学先 住友金属和歌山製鉄所

昭和51年7月2日～3日 於：大阪商工会議所賢島研修センター

講演 海水分析の問題点 京都大学化学研究所 重松恒信
見学先 三重県環境科学センター

昭和52年7月8日～9日 於：白浜・紀洋閣

講演 赤潮対策について 大阪大学 市川邦介
見学先 花王石鹼和歌山工場

昭和53年9月10日～11日 於：大阪商工会議所賢島研修センター

講演 総量規制 大阪水質計画課 中川雅夫
食品の微量汚染物質について 大阪府立公衆衛生研究所 樫本 隆

昭和54年9月7日～8日 於：山陽ハイツ

講演 水質自動計測について 広島大学 砂原忠志
最近の赤潮について 水産庁 村上彰男

昭和55年9月6日～7日 於：淡路島ビラ

講演 JIS工場排水試験方法原案について 大阪府公害監視センター 久下芳生

昭和56年9月12日～13日 於：岡山勤労者いこいの村

講演 環境アセスメント 関西新空港調査会 荻野正一

昭和57年8月29日～30日 於：大阪商工会議所賢島研修センター

講演 ガスクロマトグラフ法による定性分析 京都大学 小島次雄

昭和58年8月27日～28日 於：美浜荘（福井県）

講演 フェニックス計画について 大阪湾広域臨海整備センター 樋口貞夫

昭和 59 年 9 月 8 日～9 日 於：鳴門ハイツ

講演 環境水中のリンと窒素の連続自動計測について

大阪工業技術試験所 日色和夫

昭和 60 年 9 月 7 日～8 日 於：加太国民休暇村

講演 赤潮問題について

大阪府立水産試験所 城 久

昭和 61 年 8 月 29 日～30 日 於：いこいの村和歌山

講演 大気汚染物質あれこれ

大阪府立大学 宗森 信

見学先 近畿大学水産研究所

新技術開発事業団の委託による水質連続観測ブイ

昭和 62 年 7 月 10 日～11 日 於：花王(株)和歌山研究所

講演 微量分析技術の界面科学研究への応用

花王 吉村孝一

悪臭の分析と評価

大阪大学 庄野利之

見学先 花王(株)和歌山研究所

昭和 63 年 8 月 26 日～27 日 於：兵庫県公害研究所

講演 有害化学物質の環境汚染評価と測定法

兵庫県公害研究所 奥野年秀

見学先 鐘淵化学工業(株)高砂工業所・兵庫県公害研究所

平成元年 9 月 8 日～9 日 於：淡路海浜温泉センター健和荘

講演 地球規模汚染（中国と日本の現状）－酸性雨も含めて－

大阪府立大学 前田泰昭

環境中の残留農薬の分析について

住化分析センター 大井尚文

平成 2 年 9 月 6 日～7 日 於：国立富山工業高等専門学校

講演 フローインジェクション分析法による酵素活性の測定法

京都大学名誉教授 小島次雄

オゾンホールの研究について

富山工業高等専門学校 川平浩二

平成 3 年 9 月 5 日～6 日 於：高よしパークホテル（和歌山県）

講演 二酸化炭素と地球環境

紀本電子工業 紀本岳志

味物質の化学と知覚センサーへのアプローチ

京都教育大学 日色和夫

平成 4 年 8 月 31 日～9 月 1 日 於：南風荘（三重県）

講演 材料デバイス開発と分析技術

三菱電機 倉本一雄

フローインジェクションを利用するリン分析法の応用

住化分析センター 青柳正也

平成5年9月2日～3日 於：城崎グランドホテル（兵庫県）

講演 化学センサー 神戸大学理学部 増田嘉孝

平成6年9月2日～3日 於：加太国民休暇村

講演 昆虫調査からみた環境評価 マック環境計画（株） 宮本 彰
ヘテロポリ酸物語 龍谷大学理工学部 池田重良

平成7年9月1日～2日 於：新黒崎（大阪府泉南郡）

講演 環境汚染と文化財 大阪府立大学工学部 前田泰昭
環境計量における品質保証 (株) ユニチカ環境技術センター 古塚信行

平成8年9月12日～13日 於：加太国民休暇村

講演 大気汚染有害物質規制動向について 大阪府公害監視センター 服部幸和
キャピラリー電気泳動の環境汚染物質分析への応用
大阪大学保全科学研究センター 田中 稔

平成9年9月5日～6日 於：グリーンパーク「思い出の森」（滋賀県）

講演 近自然河川工法 龍谷大学理工学部 竺 文彦
環境熱心県とISO14001 阪南大学経営情報学部 大槻真一

平成10年9月4日～5日 於：鳴門教育大学

講演 阿波の環境問題を垣間見れば 鳴門教育大学 村田勝夫
見学先 鳴門教育大学研究施設

平成11年9月3日～4日 於：海舟（京都府）

講演 マンガンイオンの生体内での役割－光合成による酸素発生と活性酸素に関して
龍谷大学理工学部 松下隆之

平成12年9月1日～2日 於：関西電力（株）、対鷗館（兵庫県赤穂市）

講演 環境改善への超音波の利用 大阪府立大学大学院工学研究科 前田泰昭
見学先 関西電力（株）赤穂発電所

平成13年8月31日～9月1日 於：和歌山マリーナシティロイヤルパインズ（和歌山市）

講演 電位差測定用イオンセンサ 大阪工業大学 渋谷康彦

平成14年8月30日～31日 於：いこいの村和歌山（和歌山県西牟婁郡）

講演 化学物質による海洋汚染 大阪市立環境科学研究所 張野宏也

平成 15 年 9 月 5 日～6 日 於：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場(兵庫県淡路市)

講演 土壌および考古学試料を対象とした X 線分析

龍谷大学理工学部 藤原 学

平成 16 年 8 月 20 日～21 日 於：高よしパークホテル(和歌山県有田市)

講演 フォトクロミッククラウン化合物による金属イオンの分離・定量

和歌山大学システム工学部精密物質学科 坂本英文

平成 17 年 9 月 2 日～3 日 於：小豆島国際ホテル(香川県小豆島)

講演 豊島の産業廃棄物対策について

香川県会議員 石井 亨

平成 18 年 9 月 16 日～17 日 於：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場(兵庫県淡路市)

講演 分離分析－高感度と選択性を目指して－

大阪大学名誉教授 田中 稔

－会 員 交 流 会－

平成 19 年 8 月 23 日 於：大阪全日空ホテル

平成 20 年 8 月 1 日 於：アサヒビアケラー高麗橋

平成 21 年 8 月 11 日 於：アサヒビアレストラン スーパードライ本町店

平成 22 年 8 月 18 日 於：素材屋 うつぼ本町店

平成 23 年 8 月 22 日 於：素材屋 うつぼ本町店

平成 24 年 8 月 20 日 於：素材屋 うつぼ本町店

[7] 学会報告一覧

1. 昭和 51 年 5 月 第 37 回分析化学討論会
水質、底質の共通試料による共同実験 大阪工業技術試験所 日色和夫
2. 昭和 51 年 12 月 第 2 回全国環境保全公害防止研究発表会
油分分析法の検討 大阪府公害監視センター 山本宏司
3. 昭和 52 年 4 月 第 36 回日本化学会春季年会
排水中のクロムの吸光光度法の検討 大阪工業技術試験所 日色和夫
4. 昭和 55 年 10 月 第 22 回大気汚染学会 於：秋田
塩化水素分析法の比較検討 大阪市立工業研究所 黒田大介
5. 昭和 55 年 10 月 日本分析化学会第 30 年会 於：京都
排ガス中の塩化水素分析のためのイオン電極法の適用性 大阪市立工業研究所 黒田大介
6. 昭和 57 年 11 月 第 23 回大気汚染学会 於：宮崎
共同実験による有機溶剤測定法の検討 大阪市立工業研究所 黒田大介
7. 昭和 58 年 10 月 日本分析化学会第 32 年会 於：新潟
共通試料による水中の各種形態別窒素分析の共同実験 大阪工業技術試験所 日色和夫
8. 昭和 58 年 11 月 第 24 回大気汚染学会 於：四日市
共同実験による有機溶剤測定法の検討（Ⅱ） 大阪工業技術試験所 日色和夫
9. 昭和 59 年 11 月 第 25 回大気汚染学会 於：宇部市
排ガス中の低濃度の NO_x 測定法の検討 大阪市立工業研究所 黒田大介
10. 昭和 61 年 11 月 第 27 回大気汚染学会 於：京都
活性炭管法による有機溶剤の分析所間クロスチェック 大阪市立工業研究所 黒田大介
11. 昭和 62 年 2 月 第 21 回公害シンポジウム 於：大阪
有機溶剤測定法に関する共同実験 大阪市立工業研究所 黒田大介

12. 昭和 62 年 10 月 **第 28 回大気汚染学会** 於：東京
 活性炭管法による有機溶剤の分析 大阪市立工業研究所 黒田大介
13. 昭和 63 年 6 月 **第 49 回分析化学討論会** 於：滋賀
 作業環境中の有機溶剤測定における誤差要因 大阪市立工業研究所 黒田大介
 BOD のクロスチェック分析結果について 大阪府公害監視センター 高見勝重
14. 昭和 63 年 11 月 **第 29 回大気汚染学会** 於：仙台
 活性炭管法による有機溶剤の測定誤差 大阪市立工業研究所 黒田大介
15. 平成元年 10 月 **第 23 回汚濁学会** 於：京都
 底質中の重金属 (Cd, Cr, As) の精度試験結果について
 大阪市立環境科学研究所 土永恒彌
 小田國雄、東 国茂、日色和夫、高見勝重、嶋岡忠敬、千葉悦子、
 辰田 裕、中川 宏、北川民哉
16. 平成 2 年 10 月 **日本分析化学会第 38 年会** 於：名古屋
 ICP 発光分光分析による底質試料の重金属定量
 一環境分析技術協議会における共同実験一 大阪ガス 北川民哉
 東 国茂、北村秀樹、千葉悦子、土永恒彌、嶋岡忠敬、辰田 裕
 硫黄化合物を含む悪臭の測定法の共同実験 (I) 液状試料の定量
 大阪府立大学 前田泰昭
17. 平成 4 年 10 月 **中日大気汚染防止対策シンポジウム** 於：中華人民共和国・重慶
 イオンクロマトグラフ法による環境汚染物質の定量
 第 20 共同実験部会第 4 回共同実験結果報告 (HC1, NO_x, SO_x, 同時分析)
 (株)コベルコ科研 佐川福雄
18. 平成 6 年 3 月 **第 28 回日本水環境学会年会** 於：宇都宮大学教養部
 水素化物発生 / ICP 発光分析法及び原子吸光法による水試料中のヒ素、アンチモン
 及びセレンの定量 - 「環境分析技術協議会」での共同実験結果 -
 大阪府公害監視センター 中村 智
19. 平成 6 年 10 月 **物質工学連合部会分析分科会第 26 回分析技術討論会** 於：盛岡市
 環境分析におけるイオンクロマトグラフ法の利用 - 共同実験性能評価 -
 大阪市立工業研究所 黒田大介

20. 平成8年5月 **日本分析化学会第57回討論会** 於：愛媛大学
環境水中のヒ素、アンチモンおよびセレンの分析に関する共同実験（第21共同実験部
会共同実験結果報告）
大阪市立工業研究所 河野宏彰
21. 平成8年10月 **工技連物質工学連合部会分析分科会第2回分析技術討論会**
於：富山市
イオンクロマトグラフ法におけるアニオン成分の検出限界
大阪市立工業研究所 黒田大介
22. 平成10年5月 **日本分析化学会第59回討論会** 於：小樽商科大学
水素化物発生－原子スペクトル法によるヒ素、アンチモンおよびセレンの定量分析（第
3報）－環境分析技術協議会における共同実験－
大阪市立工業研究所 河野宏彰
23. 平成10年9月 **第39回大気環境学会** 於：北海道大学
標準混合溶液を用いた標準ガス調整法の評価
大阪府公害監視センター 今村 清
江口正治、大平修平、田代恭久、多々野秀二、立花茂雄、田中 稔
中原 忠、平井恭三、藤方 豊、藤瀬剛一、前田泰昭、矢坂裕太
藁科宗博
24. 平成11年9月 **日本分析化学会第48回年会** 於：甲南大学
水素化物発生－原子スペクトル法によるヒ素、アンチモンおよびセレンの定量分析（第
4報）－環境分析技術協議会における共同実験－ 大阪市立工業研究所 河野宏彰
大内康正、千葉悦子、土永恒彌、中川 宏、中村史朗、服部幸和
山口 實、山口之彦
25. 平成11年9月 **第40回大気環境学会** 於：三重大学
揮発性有機化合物のガスクロマトグラフィ／質量分析法におけるキャニスター法の評
価
大阪府公害監視センター 今村 清
江口正治、大平修平、田代恭久、立花茂雄、田中 稔、平井恭三
藤方 豊、藤瀬剛一、前田泰昭、矢坂裕太、藁科宗博

26. 平成12年9月 第41回大気環境学会 於：埼玉大学

大気中の揮発性有機化合物分析法の比較

大阪府公害監視センター 今村 清
江口正治、大平修平、多々野秀二、田代恭久、立花茂雄、田中 稔
中原 忠、平井恭三、藤方 豊、藤瀬剛一、前田泰昭、矢坂裕太
藁科宗博

27. 平成13年10月 第42回大気環境学会 於：産業医科大学

ベンゾ [a] ピレンの分析における高速液体クロマトグラフィー及びガスクロマトグラフィー／質量分析法の評価

大阪府公害監視センター 今村 清
江口正治、大平修平、竹中規訓、田代恭久、立花茂雄、田中 稔
平井恭三、藤方 豊、矢坂裕太

28. 平成14年9月 第43回大気環境学会 於：東京農工大学

高速液体クロマトグラフィーによる大気中アルデヒド類の分析法の評価

大阪府環境情報センター 今村 清
江口正治、大平修平、竹中規訓、田代恭久、田中 稔、立花茂雄、
平井恭三、藤方 豊、矢坂裕太

29. 平成15年9月 第44回大気環境学会 於：京都大学

室内空気汚染物質の固体捕集・溶媒抽出法を用いた GC/MS 定量法の評価

大阪府環境情報センター 今村 清
江口正治、大平修平、竹中規訓、白國忠志、竹中規訓、田代恭久、
立花茂雄、西本ゆかり、福西朋子、矢坂裕太

30. 平成16年10月 第45回大気環境学会 於：秋田市文化会館, 秋田県生涯学習センター

フタル酸エステル類の固相吸着・溶媒抽出法を用いた GC/MS 定量法の評価

大阪府環境情報センター 今村 清
今村 清、江口正治、大平修平、白國忠志、竹中規訓、田代恭久、
立花茂雄、角井伸次、中原 忠、福西朋子

31. 平成18年9月 日本分析化学会第55年会 於：大阪大学

固相抽出法を用いた海水中の亜鉛およびカドミウムの濃縮定量

一新規規制項目の水質分析に関する共同実験一

中川 宏、土永恒彌、河野宏彰、山口之彦、千葉悦子、中村史
朗、辰巳充弘、浅野昌弘、橋本良彰

32. 平成18年9月 日本分析化学会第55年会 於：大阪大学

室内大気における農薬類の固体捕集・溶媒抽出法を用いた GC/MS 定量法の評価

—有害大気汚染物質の分析に関する共同実験—

今村 清、井上壽一、江口正治、白國忠志、立花茂雄、田中健人、
角井伸次、福西淳一、藤森啓一

[8] 報 文

1. 宇野源太 油分測定法に関する最近の動向と問題点
「生活衛生」(1976)
2. 黒田大介 NO_x分析法 (JIS法) の性能について
「燃料及燃焼」44 (2) 109-118 (1977)
3. 日色和夫 JIS吸光光度法による排水中のクロム分析の共同実験における制度の検討
「分析化学」28 (2) T9-T12 (1979)
4. 日色和夫 共同実験による環境水中のリン分析法の検討
「分析化学」30 (5) T45-T48 (1981)
5. 日色和夫 共通試料による水中の各種形態別窒素分析の共同実験
「分析化学」33 (9) T 78-T80 (1984)
6. 中土井隆 久下芳生 黒田大介 近藤 潔 佐川福雄 前田泰昭 三石茂嘉 柳本喜武
NO_x分析の共同実験
「環境技術」14 (9) 26-30 (1985)
7. 日色和夫 水中の窒素・リン分析のクロスチェック実験
「環境技術」14 (9) 72-76 (1985)
8. 黒田大介 活性炭管法を用いる有機溶剤蒸気測定の実験による精度検討
「分析化学」36 (3) T21-T24 (1987)
9. 前田泰昭 黒田大介 田中誠治 河野伴弥 佐川福雄 木下忠土 木佐貫憲二 河野省三
佐川直史 新谷 博 吉沢秀敏
硫黄化合物を含む測定法の共同実験 (I) 液状試料の定量
「臭気の研究」21 (2) P110-P119 (1990)
10. 日色和夫 環境分析の目指すもの
「ぶんせき」(11) 931 (1992)
11. 黒田大介 イオンクロマトグラフィーによる塩化水素、窒素酸化物、硫黄酸化物の同時
定量-共同実験による測定制度の検討-
「分析化学」44 (4) 313-318 (1995)

12. 今村 清 江口正治 大平修平 田代恭久 多々野秀二 立花茂雄 田中 稔 中原 忠
平井恭三 藤方 豊 藤瀬剛一 前田泰昭 矢坂裕太 藁科宗博
混合標準液を用いた標準ガス調整法の評価
「分析化学」 48(1) 121-127 (1999)
13. 今村 清 江口正治 大平修平 田代恭久 立花茂雄 田中 稔 平井恭三 藤方 豊
藤瀬剛一 前田泰昭 矢坂裕太 藁科宗博
揮発性有機化合物のガスクロマトグラフィー／質量分析法におけるキャニ
スター法の評価
「分析化学」 48(7) 717-723 (1999)
14. 今村 清 江口正治 大平修平 田代恭久 多々野秀二 立花茂雄 田中 稔 中原 忠
平井恭三 藤方 豊 藤瀬剛一 前田泰昭 矢坂裕太 藁科宗博
大気中の揮発性有機化合物分析法の比較
「環境技術」 29(6) 461-465 (2000)
15. 今村 清 江口正治 大平修平 竹中規訓 田代恭久 立花茂雄 田中 稔 平井恭三
藤方 豊 矢坂裕太
ベンゾ [a] ピレンの分析における高速液体クロマトグラフィー及びガスク
ロマトグラフィー／質量分析法の評価
「分析化学」 50(11) 763-768 (2001)
16. 今村 清 江口正治 大平修平 白國忠志 竹中規訓 田代恭久 立花茂雄 平井恭三
藤方 豊 矢坂裕太
2, 4-ジニトロフェニルヒドラジン誘導体化法による大気中におけるアルデ
ヒド類の高速液体クロマトグラフ定量法の評価
「分析化学」 52(1) 73-79 (2002)
17. 今村 清 江口正治 大平修平 白國忠志 竹中規訓 田代恭久 立花茂雄 平井恭三
藤方 豊 矢坂裕太
2, 4-ジニトロフェニルヒドラジン誘導体化法による大気中におけるアルデ
ヒド類の高速液体クロマトグラフ定量法の評価
「分析化学」 52(1) 73-79 (2003)
18. 今村 清 江口正治 大平修平 白國忠志 竹中規訓 田代恭久 立花茂雄 平井恭三
藤方 豊 矢坂裕太
0-(4-トリフルオロメトキシベンジル)ヒドロキシルアミン誘導体化法を用
いた GC/MS による大気中のアルデヒド類の新しい測定法の評価
「環境化学」 13 171-178 (2003)

19. 今村 清 江口正治 大平修平 白國忠志 竹中規訓 田代恭久 立花茂雄 西本ゆかり
福西朋子 矢坂裕太
室内空気汚染物質の固体捕集・溶媒抽出法を用いた GC/MS 定量法の評価
—有害大気汚染物質の分析に関する共同実験 (第 7 報)
「環境化学」14 861-869 (2004)
20. 今村 清 江口正治 大平修平 白國忠志 竹中規訓 田代恭久 立花茂雄 角井伸次
中原 忠 福西朋子
室内大気におけるフタル酸エステル類の固相吸着・溶媒抽出法を用いた
GC/MS 定量法の評価 —有害大気汚染物質の分析に関する共同実験 (第 8 報)
「環境化学」16 425-436 (2006)

[9] 刊行資料題目および演題

資料 No.

- 1 .
 - ・ 粉じん中の金属成分の原子吸光分析方法（第 1, 2 回共同実験とその結果）
Fe. Pb. Mn. Cd. Ni. Cr. V. Cu. Zn. Al
 - ・ 海底土壌中の金属成分の原子吸光分析方法（第 1, 2, 3 回共同実験とその結果）
Cd. Cu. Cr. Mn. Zn.

- 2 .
 - ・ 電気メッキ工程とその廃水について
 - ・ メッキ排水のシアン分析法の問題点
 - ・ 重金属分析法の問題点
 - ・ 質疑応答集

- 3 .
 - ・ 窒素酸化物について（窒素酸化物の排出源、窒素酸化物の大気中濃度、窒素酸化物の影響、窒素酸化物等に係る環境基準専門委員会報告）
 - ・ 窒素酸化物の測定法の問題点（サンプリングにおける問題点、測定法における問題点、検量および検定における問題点）

- 4 .
 - ・ “ふんじん” についての計算
粉塵の慣用測定法
粉塵（浮遊粒子状物質）の測定器について

- 5 .
 - ・ 油分測定の問題点
 - ・ 質疑応答集（油分測定の問題点）

- 6 .
 - ・ 合成海底土の分析 Cd. Cr. Pb. Hg. As. PCB.

- 7 .
 - ・ 鉄鋳業における NO_x の化学分析と機器分析
 - ・ 排ガス浄化処理の基礎的問題

- 8 .
 - ・ 底質調査方法

- 9 .
 - ・ BOD 共同実験（第 1, 2 回共同実験とその結果）

- 10 .
 - ・ 底質の分析（第 1, 2 回共同実験とその結果）水分強熱減量、総 Hg. Cd. Pb. Cr. As. PCB.

- 11 .
 - ・ 水分析の最近の動向と問題点
 - ・ 環境規制の動向（TOD. TOC に関する手引）

12. ・ 関西環境開発㈱の現状と今後の計画について
13. ・ 大気汚染物質の新しい分析法
GC-Mass 法による環境汚染物質の分析
・ 同体質量分析による浮遊粉塵
14. ・ 化学物質環境調査方法（昭和 49 年度）
フタル酸エステルおよび有機塩素化合物の分析について
バナジウム、セレン等の分析について
15. ・ 排出滞における窒素酸化物（NO_x）の分析（第 1, 2 画共同実験の結果）
第 1 回共同実験 標準ガスによる（NO+NO₂）化学分析法の比較
第 2 回共同実験 ボイラー排ガスによる（NO+NO₂）化学分析法の比較
ボイラー排ガスによる連格分析法の比較
16. ・ 昭和 49 年環境庁告示第 64 号の施行に伴う検定方法の変更について
17. ・ 光化学大気汚染の最近の話題
・ 発生源における炭化水素類の分析法について（溶剤成分の分析法）
18. ・ テキサスにおける環境汚染処理システム
・ 欧州における都市公害対策と測定技術
19. ・ 工場排水中の重金属の測定方法（第 1, 2 回共同実験の結果）
第 1 回共同実験 Cd, Pb, Zn, Ni, Cu, As, Cr の分析
第 2 回共同実験 Cr の分析
20. ・ イオン選択性電極の基礎と新しいイオン選択性電極
・ イオン電極による測定の問題点
21. ・ COD 共同実験（共同実験の結果、淡水および海水の酸性法、アルカリ法による COD 測定）
22. ・ *n*-ヘキサン抽出物質測定…鉍油類と動植物油脂類の分離定量（第 1, 2 回共同実験の結果）
23. ・ 機器分析における検出限界、再現性について
・ 分析誤差（ばらつき）に関連した 3 つの問題点

24. ・ 悪臭防止法について
・ 悪臭法に基いた測定について
25. ・ ヘキサン抽出物質測定・・・重量法とヘキサン抽出・赤外法で鉍物油を測定した場合の
 関連検討（共同実験の結果）
26. ・ スラッジの溶出試験（第 1, 2, 3, 4 回共同実験の結果） Cd. Pb. Cr. As
27. ・ 作業環境測定法のデザインおよびサンプリングについて
28. ・ 衛生管理における環境測定の意義—許容濃度について
29. ・ 下水汚泥の重金属等の分析（第 1, 2 回共同実験の結果） Cd. Pb. Cu. Zn. Hg. As
 蒸発残留物強熱減量
30. ・ ばいじん測定、有害ガス測定、アンケート集約結果
31. ・ 平衡型ばいじん採取装置および普通型ばいじん採取装置によるばいじん測定結果の
 比較等による平衡型ばいじん採取装置の性能と実用性の比較検討調査
32. ・ 分析実技（イオン電極）講習会 F^- . Cl^- . CN^- . NH_4^+
33. ・ 水中リンの測定分析（第 1, 2, 3, 4 回共同実験の結果）
34. ・ 統計的方法（実験結果、文献値などの統計的とりまとめ）
35. ・ 大気中の有機性分の測定
 大気中の低沸点塩素化炭化水素の測定方法について
 大気中の化学物質に対する気—固吸着採取について
36. ・ 総量規制制度について
37. ・ COD 自動分析装置説明
 ・ 水質自動計測器のフィールドテストについて
38. ・ 有機大気汚染物質の採取法について
 試料採淑位置および採取点の選定
 有機汚染物質の採淑法

39. ・ 総量規制と全自動 COD 測定装置について
40. ・ 塩化水素ガス分析講習会実習内容とその結果および考察
チオシアン酸第二水銀法、イオン電極法、電位差滴定による実験、未知試料による
分析方法の比較
41. ・ 大阪湾の汚染について
・ 最近の海洋の油汚染とその防止技術
42. ・ 大気中の溶剤分析
・ GC 法による作業環境中有機溶剤の分析について
43. ・ 大気中の溶剤分析
・ 大気中有機溶剤成分の測定
44. ・ COD アルカリ性法と酸性法の比較検討
45. ・ 大気中の微量窒素系臭気成分の分析（インドール類の分析、トリメチルアミン測定
法の改良）
46. ・ ICP 発光分析の基礎
・ ICP 発光分析の環境分析への応用
47. ・ 悪臭の官能テストについて
48. ・ 硝酸体および亜硝酸体窒素分析の共同実験（第 1, 2, 3, 4 回共同実験とその結果）
・ アンモニア体窒素分析の共同実験（第 1, 2, 3, 4 回共同実験とその結果）
・ 有機体窒素および全窒素分析の共同実験（第 1, 2, 3, 4 回共同実験とその結果）
49. ・ 大気汚染防止法に基づく窒素酸化物総量削減計画の策定について（報告）
大阪府公害対策審議会専門委員会
50. ・ 高速液体クロマトグラフィー（基礎）
・ 高速液体クロマトグラフィーを用いる環境分析
51. ・ 大気中の有機溶剤の分析（第 4 回共同実験結果） トルエン・キシレン

- 52. ・大気中の有機溶剤の分析に関するパネルディスカッション
バック（ビン）洗浄装置について
作業環境測定における有機溶剤標準ガスの調整方法
有機溶剤ガスのサンプリングと分析方法について（活性洗浄捕集方法とガスクロマトグラフ分析）
環境大気中の微量エチレンオキシドの測定
- 53. ・イオンクロマトグラフ法の基礎
・イオンクロマトグラフィの環境分析への応用
・装置の説明（装置の構造、特徴、応用例）
- 54. ・低濃度の NO_x の分析（第 1 回共同実験結果）Zn-NEDA ヒドラジ還元法-NEDA 法
- 55. ・変異原性テストについて
ふんじんの測定法-サンプリングの問題点、測定法について
大気エアロゾル粒子の多元素分析とその応用
- 56. ・低濃度の NO_x の分析（第 2 回共同実験結果）Zn-NEDA ヒドラジン-NEDA 法
- 57. ・低沸点有機ハロゲン化合物（トリハロメタンを中心に）の問題点と分析について
- 58. ・欠 番
- 59. ・DO メーターによる溶存酸素の測定について
・N-BOD について
- 60. ・分析室における安全対策
・JISK0102 改正（特に窒素、リンを中心に）について
- 61. ・大気中の有機溶剤の分析（第 1, 2, 3, 4 回共同実験結果）ベンゼン、トルエン、*p*-キシレン
- 62. ・大気中の有機溶剤の分析（第 1 回共同実験結果）酢酸エチル、トルエン、*p*-キシレン
- 63. ・大気中の有機化合物の測定法
・発生源におけるガス状有機汚染物質の測定
・塩素化合物の測定
・塗料作業場及び大気中の有機溶剤の測定法

64. ・ BOD の測定分析（第 1 回共同実験結果）
65. ・ イオンクロマトによる環境水の分析
・ イオンクロマトグラフの無機ガス分析への利用
66. ・ 大気中の有機溶剤の分析（第 2 回共同実験結果）メタノール、メチルエチルケトン
67. ・ BOD 共同実験（第 2 回共同実験結果）ウインクラー法、DO メーター法による ATU 添加物、無添加の場合の BOD 値
・ BOD 硝化抑制剤としての ATU
68. ・ 半導体用特殊試料ガスの環境保全対策
69. ・ 厚生省所管事業に係る環境影響評価の実施について（依命通知）
70. ・ 大気中の有機溶剤の分析法検討について
相平衡による脱着率試験法について
有機溶剤測定方法について
TenaxGC を用いる炭化水素の分析について
71. ・ BOD 共同実験（第 3 回共同実験）塩素処理前後の生活排水 2 次処理水を用いた硝化作用による BOD₅ 値の影響
・ 環境水中の残留塩素の挙動（講演）
72. ・ ICP 発光分析の最近の話題
73. ・ 大気中の有機溶剤の測定分析（第 3 回共同実験結果）市販活性炭管に補集したシンナーの脱着率の検討
74. ・ BOD 測定における 2、3 の問題
75. ・ 大気中の有機溶剤の測定分析（第 4 回共同実験結果）シンナー蒸気の分析 トルエン、エチルベンゼン、*o*-キシレン、*m*-キシレン、*p*-キシレン
76. ・ BOD 共同実験
・ DO メーターのパーソナルコンピューターによるデータ処理について
77. ・ 官能試験法による臭気調査と住民意識

78. ・悪臭の測定分析（第1回共同実験結果）メチルメルカプタン、硫化メチル、二硫化メチル、のベンゼン溶液の分析
79. ・分析データのとり方とまとめ方（その1）－検量線－
80. ・重金属の分析（第1回共同実験結果）海底質のCd, Cr, Asの分析
81. ・ICP発光分析について
82. ・底質調査方法
83. ・分析データのとり方とまとめ方（その2）－誤差の伝播－
84. ・有機スズ化合物の定量法
85. ・固体捕集法による有機溶剤測定マニュアル
86. ・悪臭の測定分析（第2回共同実験結果）硫化水素、メチルメルカプタン、硫化メチルのガス状試料の分析
87. ・重金属（カドミウム、クロム、ヒ素）の分析（第2回共同実験）海底質の底質調査法による分析
88. ・分析データのとり方とまとめ方（その3）－データ管理とサンプリング－
89. ・悪臭の測定分析（第3回共同実験結果）低濃度ガス状試料の標準添加法による濃度決定、希釈ガスの違いによる濃縮効率と濃縮操作中でのメチルメルカプタンの安定性
90. ・分析データのとり方とまとめ方（その4）－ノンパラメトリック法－
91. ・重金属の分析（第3回共同実験結果）海底質の原子吸光によるCd, Pb, Cr, Hgの分析、溶液試料のICPによるCd, Cu, Zn, Pb, Mn, Crの分析
92. ・悪臭の測定分析（第4回共同実験結果） H_2S 、 CH_3SH 、 $(\text{CH}_3)_2\text{S}$ を空気、窒素で希釈した低濃度気体試料の分析
93. ・イオンクロマトグラフ分析（第1回共同実験結果） F^- 、 Cl^- 、 NO_3^- 、 SO_4^{2-}

94. ・リン規制とその除去技術の現状
95. ・酸性雨の分析方法
・酸性雨の問題について
96. ・分析データのとり方とまとめ方（その5）－環境分析における問題－
97. ・悪臭の測定分析（第5回共同実験結果）トリメチルアミンの濃縮とガスクロマトグラフ分析
98. ・湖沼の水質汚染と自動計測
99. ・重金属の分析（第4回共同実験結果）海底質及び下水汚泥と海底質の混合物の水銀、全リン分析並びにICPによるCu, Zn, Pb, Mn, Cr, Pの分析
100. ・イオンクロマトグラフ分析（第2回共同実験結果）河川水の F^- , Cl^- , NO_3^- , SO_4^{2-} の分析
101. ・浮遊粉じん中の無機イオンについて
・イオンクロマトグラフ法の応用例
102. ・低沸点有機塩素化合物の分析について
・バーゼル条約について
（トリクロロエチレン等の排出抑制に係る関係法令、告示および通達）
103. ・イオンクロマトグラフ分析（第3回共同実験結果）浮遊粉塵ろ紙、混合標準液をろ紙に滴下したものの Cl^- , NO_3^- , SO_4^{2-} , Cl^- , Br^- , PO_4^{3-} , Na^+ , NH_4^+ , K^+ の分析
104. ・悪臭の測定分析（第6回共同実験結果）トリメチルアミンの濃縮と分析（検量線作成2方法）
105. ・環境大気中のダイオキシン類の分析法における諸問題
106. ・ハイクロ汚染の計測（第1回共同実験結果）低沸点有機塩素化合物（TCE, PCE, MeF.）のGC-ECDによる分析
・レアメタル（Be, Sb, Se.）のICPによる分析
107. ・環境における農薬分析

108. ・悪臭の測定分析（第7回共同実験結果）アンモニア、アセトアルデヒドの分析
109. ・環境汚染物質の水質分析—有機スズ化合物の分析法を中心に—
110. ・イオンクロマトグラフ分析（第4回共同実験結果）NO、SO₂、HClの標準ガス分析
111. ・ハイテク汚染の計測（第2回共同実験結果）低沸点有機塩素化合物（TCE、PCE、MCF、CCl₄）のGC-ECDによる分析
・レアメタル（Be、Sb、Se、P）のICPによる分析
112. ・大阪市内河川の水質評価と水辺環境の再生
113. ・悪臭の測定分析（第8回共同実験結果）ガスクロマトグラフィーによるメチルメルカプタンの定量
114. ・水質環境基準改正にかかわる測定法の概要について
115. ・環境分析におけるイオンクロマトグラフィー
116. ・悪臭の測定分析（第9回共同実験結果）ガスクロマトグラフィーによるスチレンの定量
117. ・イオンクロマトグラフ分析（第5回共同実験結果）低濃度検量線の作成、飲料水中のアニオンの分析
118. ・超微量無機分析の設計と開発
119. ・ハイテク汚染の計測（第3回共同実験結果）低沸点有機塩素化合物の5物質の分析および水素化物発生によるレアメタルの分析
120. ・動植物油および鉍物油の識別方法について
121. ・難分解性有害化学物質による環境汚染と排水中化学物質の触媒湿式酸化による分解
122. ・悪臭の測定分析（第10回共同実験結果）ガスクロマトグラフ法およびイオンクロマトグラフ法による低級脂肪の分析
123. ・X線解析・SEM-EDXMA法によるアスベストの定性と定量分析
・検出限界と定量限界

124. ・ハイテク汚染の計測（第4回共同実験結果）揮発性有機化合物のGC/MS法による分析
125. ・LC-MS水質分析への応用
・LC-MSの最近の動向と環境分析への応用
・GC/MS、LC/MSによるゴルフ場使用農薬の検討
126. ・高槻市における土壌、地下水浄化対策について
・都市河川における揮発性有機化合物の分布
127. ・悪臭の測定分析（第11回共同実験結果）アルカリビーズで捕集した低級脂肪酸の分析
128. ・ハイテク汚染の計測（第5回共同実験結果）揮発性有機化合物のGC/MS法による分析、ヒ素・アンチモン・セレンの水素化物発生による分析
129. ・水田施用農薬の琵琶湖流域への流出
・環境中の農薬分析の為の固相抽出
130. ・新規規制項目の水質分析（第1回共同実験結果）ヒ素、アンチモンおよびセレンの水素化物発生—原子スペクトル分析（ICP発光分析法または原子吸光分析法）における前処理操作により生ずる測定誤差の原因の解明
131. ・淀川水系における農薬の挙動
132. ・悪臭の測定分析（第12回共同実験結果）ガスクロマトグラフィーによる低級脂肪酸の定量
133. ・VOC分析の問題点と対処方法について（対象：水試料）
・フレイムレス原子吸光光度計の設定条件とICP-MSとの測定値比較（マンガン、ヒ素、クロムを例として）
134. ・新規規制項目の水質分析（第2回共同実験結果）農薬の分析—固相カラムを用いるGC/MS法分析—、測定する各元素の化学種の違いによる分析値（回収率）の差の定量的評価
135. ・ダイオキシン分析について

136. ・有害大気汚染物質の分析（第1回共同実験結果）有害揮発性有機化合物の標準試料の調製
137. ・環境ホルモン
138. ・健康住宅と室内空気汚染について
139. ・有害大気汚染物質の分析（第2回共同実験結果）有害揮発性有機化合物の重量比混合標準液を用いた標準ガス調整法の精度試験、キャニスター-GC/MS法による分析精度の検証試験
140. ・新規規制項目の水質分析（第3回共同実験結果）農薬の分析—固相カラムを用いるGC/MS法分析—、セレン(VI)の回収率に及ぼす加熱酸分解操作の影響の定量的評価
141. ・有害大気汚染物質の分析（第3回共同実験結果）有害揮発性有機化合物の吸着・溶媒脱離-GC/MS法及び吸着・過熱脱離-GC/MS法による分析
142. ・新規規制項目の水質分析（第4回共同実験結果）農薬の分析—固相抽出ディスクを用いるGC/MS法分析—、粉末試料中に含まれるヒ素、セレンの分析、ホウ素の分析
143. ・環境ISO最新動向と認証取得のメリット
・試験研究機関における環境ISO認証取得事例
144. ・新規規制項目の水質分析（第5回共同実験結果）環境ホルモン物質の分析—固相抽出法と溶媒抽出法の比較検討—、・妨害元素共存中のセレンの分析
145. ・有害大気汚染物質の分析（第4回共同実験結果）HPLC法、GC/MS法を用いるベンゾ（a）ピレンの分析
146. ・新規規制項目の水質分析（第6回共同実験結果）環境ホルモン物質の分析—固相抽出法と溶媒抽出法の比較検討—、金属イオン捕集用の固相（キレートディスク）を用いる水中の微量鉛の定量
147. ・有害大気汚染物質の分析（第5回共同実験結果）2,4-ジニトロフェニルヒドラジン法及び*o*-(4-トリフルオロメトキシベンジル)ヒドロキシルアミン法を用いるアルデヒド類の分析

148. ・有害大気汚染物質の分析（第6回共同実験結果）室内空気汚染物質（芳香族類およびクロロエチレン類）を対象とした吸着・溶媒脱離-GC/MS法による分析精度の検証実験
149. ・新規規制項目の水質分析（第7回共同実験結果）環境ホルモン物質（外因性内分泌錯乱物質）としてのフェノール類のGC/MSによる分析、特定のマトリックス成分を含む試料からの微量鉛およびカドミウムの濃縮分離・定量
150. ・新規規制項目の水質分析（第8回共同実験結果）底質試料中のノンフェノールの分析、「土壌含有量調査に係る測定方法」を用いたカドミウム等の重金属含有量試験
151. ・有害大気汚染物質の分析（第7回共同実験結果）室内空気汚染物質（フタル酸エステル類）を対象とした固相吸着・溶媒脱離-GC/MS法による分析精度の検証実験
152. ・新規規制項目の水質分析（第9回共同実験結果）誘導体化試薬を用いた河川水中のフェノールの分析、固相抽出法を用いた海水試料中に含まれる微量亜鉛等の濃縮分離・定量実験
153. ・有害大気汚染物質の分析（第8回共同実験結果）*o*-(4-シアノ-2-エトキシベンジル)ヒドロキシルアミン誘導体化(CNET)法を用いた大気中アルデヒド類の分析精度の検証実験
154. ・新規規制項目の水質分析（第10回共同実験結果）新水道法に基づく淡水試料中のフェノールの分析、淡水試料を用いた無機成分（フッ素、ホウ素、ヒ素、六価クロム）の簡易分析法と公定分析法の比較実験
155. ・有害大気汚染物質の分析（第9回共同実験結果）室内空気汚染（フェノブカルブ、ダイアジノン及びクロルピリホス）を対象とした吸着・溶媒脱離-GC/MS法による分析精度の検証実験
156. ・新規規制項目の水質分析（第11回共同実験結果）新しい標準物質（フェロシアン塩）を用いたシアン化合物の定量実験
157. ・有害大気汚染物質の分析（第10回共同実験結果）固体反応捕集・溶媒脱離-GC/MS法を用いたエチレンオキシド（酸化エチレン）の分析精度の検証
158. ・第35期共同実験結果 排水中のCODおよびCr(VI)の分析精度検証実験

- 159. ・第36期共同実験結果 排水中のCOD分析における試料採取量の影響調査および排水中硝酸イオンの分析精度検証実験
- 160. ・第37期共同実験結果 共通のシュウ酸ナトリウム標準溶液を用いた水中CODの測定および全窒素の分析精度の検証実験
- 161. ・第38期共同実験結果 環境水中の1,4-ジオキサンの検証実験、有機物を大量に含む水中の鉛および銅の分離定量
- 162. ・第39期共同実験結果 パッシブサンプラーを使用した室内空気中のVOCおよびアルデヒド類分析の検証実験
- 163. ・第40期共同実験結果 全窒素の測定およびキレートディスクを使った標準添加法による金属イオン分析の検証実験